

「福島桜」写真展

NHK福島放送局とパリ日本文化会館では、「福島桜」写真展を次の通り実施いたします。

今回のイベントは「Fukushima」の美しい自然と魅力をフランスの人たちに知ってもらふことで、できるだけ多くの人に実際に福島を訪れたいという気持ちを持っていただくというものです。それによって海外で未だに残る「Fukushima」に関するネガティブな見方を払しょくし、欧州からの観光客の増加につなげることで福島に元気を与えたいと考えています。

また、イベントを通じて、震災発生直後からフランスの人たちが示した福島への支援に対する感謝の意を伝えたいとも考えています。

なお、今回はNHKが世界に誇る4K、VRといった最先端の技術を使って福島魅力を発信し、日本の優れたテレビ技術も紹介します。



記

<写真展>

会 期：2019年3月19日（火）～28日（木）<24、25日は休館>

会 場：パリ日本文化会館 地上階ホール

主 催：NHK 福島放送局、パリ日本文化会館

後 援：福島県

その他：初日19日（火）16時から（19時まで）、「ベルニサーージュ」を地上階エントランスホールで実施します。

イベント内容

I ふくしまの「桜」写真展

震災後、「福島桜を復興のシンボルとしよう」として始まった「NHK“福島桜”フォトコンテスト」の第1回～第7回までの入賞・入選作品350点の中から厳選した作品と県内の桜前線の移ろいを記したMAPを展示する。

また特別展示として、桜フォトのコンテスト審査委員長を7年勤めているフォトジャーナリスト大石芳野氏が震災直後から撮り続けている「福島今」を特別に展示する。

II 福島「魅力」と様々な「姿」～VR「Fukushimaを歩く」「4Kで彩る Fukushima」～

福島局映像取材がVR（バーチャルリアリティー）で撮影した、福島県の「桜」の名所（富岡町の「夜ノ森の桜」、三春町の「滝桜」）のほか、今なお帰還困難区域の双葉町にある朽ちた家屋や卒業式の準備中のまま取り残された学校の校舎など、福島「桜」の美しさ、力強さだけでなく、時が止まったままの福島「今」を体験してもらう。また、福島局が4Kカメラで撮影した浜通りの「相馬野馬追」と中通りの「二本松提灯祭り」、および4K放送「小さな旅～只見編～」を再編集して上映する予定。

III 知られざる福島物語～「ココに福あり f Map～田んぼより愛をこめて～」

2018年度に始まった福島局のローカル番組「ココに福あり f MAP」。

豊かで美しくたくましい福島の“知られざる物語”を再発見し、新しい観光地図＝f MAPを作っていくことをテーマに放送している番組の第一回に放送した「田んぼより愛をこめて」をフランス語、英語の字幕付きで上映する。原発事故の絶望から「希望に変えた田んぼ」、「ふるさとの危機を救った田んぼ」など、福島を元気にする人たちの魅力に迫る物語をお届けする。

<お問合せ> NHK 福島放送局 木村・矢ヶ部
Mail: m60501-sakura-fukushima@1i.nhk.or.jp